

事業所における自己評価結果(公表)

令和4年3月28日 公表

事業所名 こども発達支援センター のぞみ(児発)

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		活動によって、部屋を使い分けている。	活動内容によって、スペースを共有したり、個別で使ったりしている。昨年度より密を避けるため、小グループ制を行っており、今後も継続していく。
	2 職員の配置数は適切である	○		8名+αのグループに支援員を3~5名を配備している。	継続して8名+αのグループに3~5名の職員が支援を行っていく。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		個々の発達に合わせ、安全に過ごし易い環境にしている。	利用児に応じ丁寧に支援を継続していく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		毎日施設内や送迎バスの清掃と消毒を行っている。	今後も丁寧に清掃、消毒作業を行っていく。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		全職員が情報共有できるよう、回覧を行っている。	もれなく全職員が必要な情報を共有できるようにしていく。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		毎年、行っている。	ガイドラインに沿ったものを使用し、改善に努めていく。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		配布とホームページ掲載を行い、広く皆様にご覧いただけるようにしている。	今後も継続する。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		年間計画を立て内部研修を行っている。外部研修にもできるだけ多くの職員が参加し、スキルアップにつなげている。	内部研修・外部研修を行い、資質向上に努めていく。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		担当制にして、クラスごとに会議をしている。保護者のニーズをできるだけ把握できるよう電話や面談を行っている。	訴えの少ない保護者のニーズも把握できるよう努めていく。
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		新版K式発達検査などのアセスメントツールを使用して、適切に評価を行っている。	色々な職員が検査を実施、まとめ、評価できるようにしていく。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		保護者のニーズや困り感に応じて多職種で連携して、支援を行うよう努めている。	より丁寧な支援が行えるよう職員一人一人のスキルアップを行っていく。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		保護者を含め、関わる支援員で情報共有し、計画作成に努めている。	支援方針について、保護者とより相互で同意できるものになるよう努めていく。(アンケート、質問紙なども用いている)
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		クラス職員だけでなく、全職員で話し合って立案している。	個々に応じた活動を提供できるよう一人一人評価を行っていく。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		季節に合わせて内容など工夫している。	季節感だけでなく、その時の子どものニーズに合った題材を取り入れていく。
16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		活動内容や子どもの状況に応じて集団活動と個別活動を取り入れている。	子どもの活動ニーズや興味関心を引き出しながら、活動プログラムを考えていく。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		支援前日や当日に打ち合わせを行っている。	事前の丁寧な打ち合わせは重要であり、継続して行っていく。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		子どもの様子や気づきを職員間で共有している。	振り返りの時間の確保をしていく。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		必ず、支援終了後には記録し、振り返りを行っている。子どもの状態によっては、夕方電話確認をする。	毎日の丁寧な振り返りを継続していく。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		クラスでモニタリング会議を行っている。	一人一人の支援をチームで深める努力をしていく。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		関係機関との連携を行っている。	今後も連携を継続してとっていく。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○		
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		移行時には、文書での連携に加え、訪問や電話などで連携を行っている。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		病院・大学などの関係機関と連携を行っている。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		管理者を中心に参加している。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		日々の連絡帳や送迎時、電話などで共通理解をはかるよう努めている。	子どもの状態像について、より保護者と共通理解できるよう細やかな情報共有に努めていく。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		毎週木曜日、臨床心理士による面談を行っている。	年に何度か保護者の集まる会を設けていきたい。保護者同士のミーティングに力を入れたい。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に行っている。	利用者負担金は、利用時前と変更時に説明していく。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のわらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		相談支援事業所と連携をとり、情報共有している。	保護者のニーズをより把握できるようにしていく。(定期的にアンケート、質問紙なども用いていく)
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		今年度はできなかったが、勉強会、茶話会やクッキング等での保護者同士の集まりを大切にしていく。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		相談を受けたときは、即座に対応し、スタッフで検討が必要な時は、臨時職員会議をして対応している。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月、お便りを発行している。法人の広報紙を年3回発行している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		その方に合わせた対応をしていく。(電話、メール、視覚的に分かりやすくする手紙、翻訳など)	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	今年度はコロナのため開催なし	地域の人との交流を図る場を設けていく。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		コロナ対応を状況に合わせて迅速に行った。	水害・災害・防犯のマニュアルを策定し、職員研修を行っていく。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		毎月1回 避難訓練(水害・火事・防犯・地震)を行っている。	水害・火事・防犯・地震の訓練を継続して行っていく。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		発作に対応出来るよう消防に届け出を行っている。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		対応児は必ず医師の指示書を提出してもらっている。給食室や各教室に個別のアレルギー表を分かりやすく提示している。	漏れがないよう全職員に周知徹底していく。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		月に1回ヒヤリハット検証会をしている。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		年に1回以上行っている	管理者を中心に行い、理解を深めるよう虐待研修を行っていく。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		○	身体拘束が必要な児が今はいない。	身体拘束については、正しい理解が必要なため、管理者を中心に研修を行っていく。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和4年 3月 28日

パーセンテージ表示

事業所名 こども発達支援センター のぞみ 保護者等数(児童数) 24名 回収率 20名 割合 83 %

児童発達支援センター

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	90%	5%	5%	0%	・園庭がもっと広がったらいいと思います。仕方ないですが。	園庭遊びはグループ毎で行うように時間調整で工夫しています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	85%	10%	0%	5%	・言語聴覚士、看護師の先生がおられるとなお良いです。	配置できるよう努力します。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	90%	10%				その時のお子さんの状況に応じてグループ変更や場所移動など対応しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	90%	5%			・子どもの特性に合わせてクラス分けをしていたのはありがたいのですが、プレハブは暑い日や寒い日は大丈夫かなと心配することがあります。	その時の気温に応じ、エアコンを1~2台作動させ、換気を行いながら気温調整しております。
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	90%	10%			“大人との関わり、遊びを通して学びを増やしていく”ことは大切だと思うが、それを行った上で個別に応用訓練の様子は工夫しているのかが分からない。	練習や訓練ではなく、遊びや日々の生活の中で、生きていくために必要な力が身につくよう支援を行っています。一人に合った目標設定を行い取り組んでいます。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び以降支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	85%	10%		5%		具体的な支援内容を計画の中に盛り込んでいます。ガイドラインについてはいつでもご覧になれます。(インターネットで閲覧できることをお知らせします。)⇒参照先 児童発達支援ガイドライン—厚生労働省 <検索>
	7 児童発達支援に沿った支援が行われているか	90%	10%				一人ひとりに丁寧に寄り添い支援していきます。
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	90%	5%		5%	・楽しそうなプログラムが多くてありがたいです。	季節感大切にしながら、その時の子どものニーズに合った題材を取り入れていく。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	20%	15%	40%	25%	・無くても良いと思います。 ・コロナ禍なので仕方ないと思います。	今のところ、交流する機会は持っておりません。
	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	80%	20%				契約時に説明させていただき、変更があった場合にはその都度お知らせしています。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び発達支援内容とこれに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	90%	10%				内部研修をして周知し、支援計画の内容を説明しています。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	60%	40%			・今はコロナ感染リスクがある為、あまり支援員の方々と具体的な話をする機会がない。	必要に応じて電話対応も行っています。また、毎週木曜日に保護者対象にした、臨床心理士による個人面談を設けております。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解が出来るか	95%	5%			・毎日の連絡帳にちゃんと読んでコメントを書いてくれています。うれしく思っています。 ・毎日、子どもの様子を伝えて下さり、今後の助言をして頂いたり、とても安心しています。 ・連絡帳にその日の出来事が書いてあり分かりやすくして良いと思う。 ・親と先生方との日頃の会話で情報交換できる環境に安心しています。 ・発達検査のお願いをしたらすぐに対応してもらえてありがたかったです。毎日の連絡帳も詳しく書いてくださっていつも楽しみです。	今後もお迎え時や、連絡帳または、電話で、丁寧に子どもの状況を伝えていきます。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	85%	10%	5%		・時々、気付いてくれた事など教えてください。気づかなかったり、思いつかない事など色々とお助けしてもらってます。 ・今はコロナ感染リスクがある為、あまり支援員の方々と具体的な話をする機会がない。 ・小学校を決めるためにもう少し相談や面談をして助言をしていただきたかったです。	定期的または必要に応じて随時面談を取り入れていきます。面談が難しい時期には電話での相談に対応していきます。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	15%	25%	50%	10%	・今はコロナ感染リスクがある為、あまり支援員の方々と具体的な話をする機会がない。 ・コロナ禍なので仕方ないのは重々承知していますが、他のご家族や子ども達との関わりがあると子どもへの声かけも豊かになるなと思います。 ・コロナ禍なので仕方ないけど、昨年度から入所した子ども(その保護者も)分ならずじまいのまま終わりそうで残念です。 ・コロナですしね。 ・コロナ禍なので難しいと思います。 ・今の世の中では難しいですが、他の保護者の方と話す機会があったら良かったなと思います。	クッキングで保護者の方にも参加してもらおう機会を、年数回設定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い実施できていません。保護者会はありませんが、以前のように保護者学習会、茶話会なども実施していきたいと思っています。
	16 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	80%	10%		10%	・相談もすぐよく聞いて頂いて、納得出来るので安心して頂いています。 ・困った時はすぐに対応して下さい、いつでも相談ができる環境に感謝しています。	保護者の相談には、迅速に対応させていただいております。

保護者への説明等

	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	80%	5%	15%		
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	75%	15%		10%	
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	100%				
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	90%			10%	避難訓練を毎月実施し、連絡帳やおたよりでお知らせしていくようにしています。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	100%				水害・火事・防犯・地震など、色々な非常災害を設定し、毎月、訓練を実施しています。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	95%			5%	職員も毎日楽しく仕事が出来ています。ご家族の時間も大切になさってください。
	23	事業所の支援に満足しているか	95%	5%			紙パンツの処理については、当事業所で処分するように致しました。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。